

施策評価管理シート

施策体系	政 策	5	未来につながる自立と協働による市政経営	2019(令和元)年6月作成	
	基本施策	2	自主自立の市政経営	担当部局(室)名	部局長名
	施 策	1	「新・理想郷プラン」の推進	総合企画政策室	手島 左千夫

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題



- 総合計画の形骸化が指摘される中、適切な進行管理と総合計画を軸とするトータルマネジメントシステムの構築が求められています。
- 自主自立した市政経営のため、人口減少と超高齢時代に立ち向かい、地域活力の創生に向けた重点的な取組が必要です。
- ひとつの自治体内で一通りの生活機能を揃え、市民サービスの全てを完結することが困難であると同時に非効率であるとも言える中、広域的なまちづくりに取り組む必要があります。
- 市を取り巻く環境の変化や多様なニーズに対応した行政サービスを効率的に提供するためには、情報セキュリティに配慮したIT技術を効果的に活用し、基盤の整備を行い、行政運営を推進する必要があります。

2. 施策の基本方針



- 計画に定める目標達成に向けて、市民意識調査や行政評価などをもとに、計画の的確な進行管理を行い、新たな施策展開へとつなげます。
- 人口減少・少子高齢化を喫緊の課題と捉え、重点戦略に掲げる3つのプロジェクトに関わる各種施策の横断的・多面的かつ一体的な取組を推進し、地域活力の創生に取り組みます。
- 周辺自治体をはじめ、三重県や県内外の自治体と幅広い分野で相互に補完・連携・協力・交流し、効率的で質の高い広域的なまちづくりを進めます。
- 「新・理想郷プラン」に掲げる各施策の取組を、IT利活用という観点からも総合的に推進します。

○施策指標(目標)及び達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
「新・理想郷プラン」第1次基本計画の数値目標の達成状況(%)	目標	-	-	-	100.0	
	成果	-	43.4	49.0	56.8	56.8%
市の移住等に関するホームページへの一月あたりの平均アクセス件数(件)	目標	-	-	-	350	
	成果	316	476	414	344	82.4%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度～30年度)



- ・総合計画「新・理想郷プラン」の推進のため、毎年度、行政評価による取組成果の評価・検証を行い、その結果を踏まえた効果的・戦略的な事業展開を図りました。また、その結果を行政評価報告書にとりまとめ、市民に公表するとともに、施策展開の方向性を示しました。
- ・国の地方創生関連交付金を最大限に活用し、「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」に掲げる各種施策を推進しました。また、民産学官金芳言の分野の外部委員で構成する「名張市地域活力創生会議」での意見聴取を行い、取組の効果検証に取り組みました。
- ・移住・定住の促進については、平成28年度より専属職員(移住コンシェルジュ)を配置し、庁内及び関係機関・団体・事業者等との連携により幅広い相談対応と移住者支援に取り組みました。また、都市部で開催される移住フェア等への出展や、移住支援WEBサイトの充実などにより、積極的な情報発信に取り組みました。
- ・伊賀市との協議により、業務量が大幅に減少していた伊賀市・名張市広域行政事務組合が平成29年度末に解散しました。
- ・三重県の主催により、観光、防災に関する伊賀圏域での広域的な取組に関して伊賀市と検討会議を行いました。

4. 成果を踏まえた課題や現状



- ・第1次基本計画の成果や主要指標の達成状況等を踏まえつつ、各種施策の適切な進行管理と総合計画を軸とするトータルマネジメントシステムの構築が求められています。
- ・「定住人口減少の抑制」と「交流人口拡大の促進」の実現に向けて、効果が期待できる新たな政策提案やその実践に取り組み、本市の地域活力の創生につなげていくことが必要です。
- ・ひとつの自治体内で一通りの生活機能を揃え、市民サービスの全てを完結することが困難であると同時に非効率であるとも言える中、広域的なまちづくりに取り組む必要があります。
- ・多様化し、急速に変化する社会に対応した市民サービスを、限られた行政資源の中できめ細かく提供していくためには、IT技術の活用は不可欠なものであり、その技術の進化を捉えていく必要があります。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)



- ・総合計画「新・理想郷プラン」第1次基本計画(H28～H30)に基づく3年間の取組の総括評価を実施し、今年度中に市民に公表するとともに、総合計画「新・理想郷プラン」に掲げる各種施策のより効果的・戦略的な事業展開を図るべく、第2次基本計画(R1～R4)に掲げる諸施策の推進に努めます。
- ・「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」が最終年度となるため、これまでの取組の検証結果を踏まえ、更なる取組の推進を図ります。また、今年度は次期総合戦略の策定に向け、国の動向を注視しながら、従来の取組に加え、地域の実情や状況の変化などを踏まえ、次期総合戦略に活かすよう本市の強みや課題の検証を行います。
- ・移住・定住促進の取組については、庁内及び関係機関との連携により取組体制を強化していくとともに、都市部でのイベント出展や移住支援ウェブサイトの充実などにより、より一層の情報発信に努めていきます。
- ・様々な広域的な行政課題について、伊賀市や他の周辺自治体と連携しながら、互いに補完・協力し合える地域づくりに向けて、引き続き検討・協議を行っていきます。
- ・市民サービスのさらなる充実と行政事務の効率化を図るため、IT技術の進化を踏まえた行政サービスの改善・設計を行っていきます。

6. 行政評価委員会による総合評価



未達成や進捗が遅延している施策指標についてその原因を分析し、第2次基本計画における改善策の検討を進めること。